

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 101

事業名	自主防犯意識の醸成促進事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	警察、市町村と連携を図り、特定の罪種、あるいは特定の被害者層に的を絞った、実効性のある効果的な広報啓発活動を実施する。 また、安全安心まちづくり旬間における防犯パトロール隊出動式等の実施により広く県民の防犯意識の高揚を図る。					
当初予算額(千円)	26年度	3,985	27年度	2,986	28年度	3,063
決算額(千円)	26年度	2,961	27年度	1,361	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・啓発用防犯グッズ等(空き巣被害防止チラシ150,000枚、クリアファイル2,500枚、手さげ袋5,000枚、定規15,000本)の配布
- ・安全で安心なまちづくり旬間に、防犯パトロール隊出動式を実施 など

(2) 事業の成果

・「安全で安心なまちづくり旬間」における防犯パトロール出動式の実施や啓発グッズの配布に積極的に取り組んだ。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ・引き続き、犯罪被害を防止する効果の高い防犯グッズを作成し、防犯パトロール隊出動式等での広報・啓発により、広く県民の防犯意識の高揚を図る。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 102

事業名	防犯意識を高める広報啓発事業		
担当課・室・班名	警察本部 子ども女性安全対策課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しの整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	電車における痴漢対策強化期間を設定して駅頭等で防犯キャンペーンを実施する。 小・中学校、高等学校における防犯講話等において防犯意識の向上を図る。					
当初予算額(千円)	26年度	-	27年度	-	28年度	-
決算額(千円)	26年度	-	27年度	-	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・6月第1週を痴漢対策強化旬間とし、各警察署において、自治体・鉄道事業者と共働したキャンペーンを実施した。
- ・各学校からの依頼を受け、防犯講話や不審者対応訓練等の被害防止教育を推進した。

(2) 事業の成果

- ・児童・生徒や教職員等に痴漢や声かけ事案等に対する防犯意識の向上が図られた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ・継続的に、学校等と協力した被害防止教育等を推進していく。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 103

事業名	防犯ボランティア活動促進事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の犯罪抑止に大きな役割を担うようになってきた自主防犯団体の活動を継続、発展させていくため、当該団体の育成を図る。					
当初予算額(千円)	26年度	2,255	27年度	1,489	28年度	1,429
決算額(千円)	26年度	1,657	27年度	839	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・防犯活動支援のワークショップ5回開催
- ・ヤング防犯ボランティア交流大会1回実施
- ・自主防犯活動情報誌の発行(3,500部)

(2) 事業の成果

・地域の核となる防犯リーダーなどを育成するため、防犯活動支援のワークショップを開催し、自主防犯活動の活性化などを図った。また、次世代の自主防犯団体の構成員の育成を図るため、ヤング防犯ボランティア交流大会を実施した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・平成28年度は、自主防犯団体の問題点や活動の活性化策を話し合う「地域防犯力の向上に関する交流大会」の開催やヤング防犯ボランティアなどの防犯活動の支援などを実施する。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 104

事業名	地域の防犯力アップ補助事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の防犯力アップに大きな役割を担っている県民の自主防犯活動を促進し、その発展・強化を図るために、市町村が行う資機材整備事業について、その経費の一部を補助する。					
当初予算額(千円)	26年度	1,400	27年度	1,600	27年度	8,000
決算額(千円)	26年度	1,235	27年度	1,471	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・パトロール用資機材整備費の補助(18市村)

(2) 事業の成果

・地域の防犯活動を行っている自主防犯団体へのパトロール用資機材整備への支援を、各市村を通じて積極的に行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・平成28年度から、防犯パトロール資機材整備の補助率(1/3→1/2)を上げ、補助額(100千円→250千円)を増やすことにより、一層資機材整備の助成を推進する。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 105

事業名	安全で安心なまちづくり推進事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	千葉県安全で安心なまちづくりの促進に関する条例に基づき、県民一人ひとりの防犯意識の向上と自主的な防犯活動に取り組めるような推進体制の整備を図る。					
当初予算額(千円)	26年度	472	27年度	415	28年度	264
決算額(千円)	26年度	345	27年度	353	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・合同防犯診断5回実施

(2) 事業の成果

・住民、市町村、警察などが参加した防犯現地診断を行うことにより、相互の認識を深めるとともに、防犯力のある地域コミュニティづくりを進めた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・犯罪の起こりにくい地域コミュニティづくりに取り組むため、千葉県安全安心まちづくり推進協議会総会や万引き防止対策部会などを実施していく。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 106

事業名	消費者教育啓発事業(再掲)		
担当課・室・班名	環境生活部くらし安全推進課消費者安全推進室	問合せ先(電話番号)	2292

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり				
基本目標	6 社会環境の見直しの整備				
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応				
事業内容	1. 消費者教育の推進及び消費者被害防止のための研修・啓発等を行う。(本課) 2. 消費者の自立を支援し、消費者トラブルを未然に防ぐため、消費者自立支援講座、サポーター養成講座を実施する。また、被害の拡大防止のため、消費者センターにおいて消費者情報の提供を行う。(消費者センター)				
当初予算額(千円)	26年度	27年度	5,566	28年度	5,887
決算額(千円)	26年度	27年度	3,675	28年度	
財源内訳	県単(○)	県単(○)	一般財源 4,972	県単(○)	一般財源 4,882
		○	国庫 594		国庫 1,005

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- 消費者フォーラムを開催 383人参加
学校における消費者教育(教員向け研修会の開催) 45人参加
高校生等若者向け啓発(冊子「オトナ社会へのパスポート」等作成)
テキスト92,000部 指導者向け手引書4,000部
- 消費生活サポーター養成講座 2回 109人参加
自立支援講座 60回 5,257人参加

(2) 事業の成果

・若者を始めとした、様々な世代に対し、消費者教育・啓発を提供することが出来た。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・消費者被害を防止するためには、子どもの頃から学校において金銭教育などの消費生活の知識を身につけるなど、ライフステージごとに消費者教育を受けることが重要である。
学校において消費者教育を行うために、引き続き「教員向け研修会」の開催や、高校生等若者向け啓発資材(冊子)の配布を行っていく。
また、消費者問題に関する講座については、様々な主体に対し、積極的に周知を図っていく。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 107-1

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	学校安全保健課 安全室	問合せ先(電話番号)	4091

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	「地域防犯研修会」の開催。県警や地元警察署、防犯団体と連携し、地域安全マップをはじめとする最新の防犯知識と技術を伝達する。					
当初予算額(千円)	26年度	136	27年度	160	28年度	160
決算額(千円)	26年度	60	27年度	80	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・「地域防犯研修会」を県内5か所、全ての教育事務所管内で実施した。各研修会では、学校関係者、防犯関係団体の方々、スクールガード等が参加し、5会場で合計461名が参加した。

(2) 事業の成果

・学校関係者や防犯関係団体の方々、スクールガード等を対象に「安全マップづくり」の実践をはじめとする防犯知識や技術の伝達、有識者による防犯教育の講演、地元警察署の方々による地域防犯の状況説明及びスクールガードリーダーの取り組みの報告等を行い、参加者の防犯活動に対する意欲の向上を図るとともに防犯知識や技術の伝達ができた。また、東葛飾教育事務所においては、平成27年度からは、文部科学省の事業である「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業(地域や関係機関と連携した防犯教育公開事業)」に指定校として取組んだ柏市立十余二小学校の実践発表を行い、安全マップづくりや、地域との連携のあり方等について周知することができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・「安全マップ」の作成をより推進するため、当該研修会のみならず、他の研修会等においても広く周知していく必要がある。平成28年度は、学校安全教室講習会や安全主任等地区別研究協議会において、前年度、文部科学省の事業である「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業(地域や関係機関と連携した防犯教育公開事業)」に指定校として取組んだ柏市立十余二小学校の実践発表を行い、広く周知していく。また、学校安全教育推進委員を活用し、「安全マップ」作成に係る現状と課題等について研究を進め、平成29年度の安全主任等地区別研究協議会において、発表する予定である。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 107-2

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	警察本部 子ども女性安全対策課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しの整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	県警ホームページ上の「不審者マップ」による情報発信とメール投稿機能による不審者情報の収集を行う。					
当初予算額(千円)	26年度	-	27年度	-	28年度	-
決算額(千円)	26年度	-	27年度	-	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・警察で認知した不審者情報の発生地区(行為者の検挙・警告状況)を県警ホームページ上において情報発信を実施するとともに、メール機能を利用した不審者情報の収集を実施した。

(2) 事業の成果

・県民が、声かけ等の事案発生状況を閲覧することにより防犯意識の向上が図られた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・継続的に、情報発信と情報の収集を推進していく。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 108

事業名	青少年の社会環境づくり事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	千葉県青少年健全育成条例等に基づき、青少年の健全育成を図るため、立入調査の実施や、啓発用物資の作成及び配布により、青少年に有害な環境の浄化に努める。					
当初予算額(千円)	26年度	766	27年度	778	28年度	778
決算額(千円)	26年度	396	27年度	432	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・青少年の健全育成を図るため、条例に基づき、携帯電話等販売店107件、書店等227件、インターネットカフェ27件、カラオケボックス72件等、計488件(うち300件は権限移譲市町実施分)の立入調査を行い、携帯電話事業者等の説明責任等の確認・指導、青少年の深夜入場禁止や有害図書等の区分陳列等の確認・指導等を行った。
 ・千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査に係る事務権限を移譲した4市町(千葉市・銚子市・富津市・大多喜町)により立入調査が行われた。

(2) 事業の成果

・立入調査の実施により、事業者の条例遵守状況についての実態確認及び指導を行い、個々の店舗における千葉県青少年健全育成条例の規制事項の認識を高めるとともに、事務権限を移譲した4市町による立入調査の実施により、地域における青少年健全育成の充実を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・青少年がインターネットを利用することにより、様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加していることから、インターネット上に氾濫する有害情報から青少年を守るための啓発をさらに進めるとともに、条例に基づく携帯電話等販売店への確認・指導のより一層の充実を図る必要がある。
 ・地域における青少年健全育成の充実を図るため、立入調査に係る事務権限の市町村への移譲を進め、より効果的な実施を目指す。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 109

事業名	青少年ネット被害防止対策事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2291

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	青少年の利用頻度の高いサイトを監視するとともに、関係機関と連携し、いじめ、非行行為、犯罪被害などの防止を図る。					
当初予算額(千円)	26年度	5,025	27年度	5,541	28年度	5,496
決算額(千円)	26年度	5,679	27年度	4,953	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・ネット監視員2名を配置し、パソコンと携帯電話を使用して、県内の全ての中学校、高校、特別支援学校(計約630校)の生徒が行っているSNSなどについて、監視を行った。問題のある書き込みを見つけた場合の措置として、特に問題のある書き込み(レベル2、3)を発見した場合に、教育委員会等に連絡し、削除を含めた生徒への指導を依頼した。自殺、ネットいじめ、事件性の高いものについては、学校、教育委員会、警察など関係機関と早急に対応した。

・学校、関係機関の要請に応じ、児童生徒、保護者、学校関係者等が主催する講演会において、職員を派遣し講演を実施した。

(2) 事業の成果

・ツイッターなどのSNSへのネットパトロールを強化した結果、平成26年度より1,340人多い、6,029人(26年度比28.6%増)の問題のある書き込みを発見した。これらの書き込みの中で問題のあるものについては、学校等を通じて指導・削除等を行った。

・学校、諸機関の要請に応じ、児童生徒、保護者、学校関係者等が主催する講演会において、職員を派遣し、講演を実施した。昨年度は59回実施し16,958名参加があった。インターネットの適正利用について啓発を図ることができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・今年度も引き続きネットパトロールを継続し、子どもたちを見守りながら、関係機関と連携・協力し、指導や保護につなげていく。

・インターネットの適正利用について、効果的な啓発の仕方を検討していく。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 110

事業名	フィルタリングの普及促進に向けた広報啓発活動		
担当課・室・班名	警察本部 少年課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	有害サイトへのアクセス制限機能であるフィルタリングの普及促進に向けた広報啓発を実施する。					
当初予算額(千円)	26年度	-	27年度	-	28年度	-
決算額(千円)	26年度	-	27年度	-	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・県内の携帯電話販売店等241店舗に対して、フィルタリングの普及に関する協力要請を行った。また、小・中・高等学校の保護者説明会等を通じて、携帯電話やスマートフォンに係る児童・生徒の犯罪被害の実態やインターネットの危険性、適切なフィルタリングの利用は保護者の責務であることを説明するなど、広報啓発活動を実施した。(平成27年中)

(2) 事業の成果

・少年がインターネット上の有害情報を閲覧する機会をできるだけ少なくするために、携帯電話販売契約代理店に対する働きかけや広報啓発活動を通じて、少年や保護者などに有害サイトの危険性の注意喚起やフィルタリング機能の利用促進を呼びかけることができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・携帯電話販売店等に対して、フィルタリングの普及に関する協力要請を行う。また、小・中・高等学校の保護者説明会等を通じて、広報啓発活動を実施する。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 111

事業名	サイバー犯罪対策の推進		
担当課・室・班名	警察本部サイバー犯罪対策課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	県下の学校等教育機関を対象としたネット安全教室を開催し、インターネットを利用する上での規範意識の向上や、情報セキュリティ対策に関する知識の向上を図る。					
当初予算額(千円)	26年度	308	27年度	292	28年度	292
決算額(千円)	26年度	189	27年度	292	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・学校等を対象としたネット安全教室695回(平成27年中)実施した。

(2) 事業の成果

・インターネットを利用するモラルとマナーの向上に努めるなど、利用者に対して被害者にも加害者にもならないよう広報啓発活動を図ることができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・サイバー犯罪の手口は悪質・巧妙化するとともに、新たな技術やサービスが出現し、それらが犯罪のツールとして悪用される可能性も拡大していることから、常に最新情報を取り入れたネット安全教室を開催するとともに、広報啓発活動を継続して推進していく必要がある。

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 112

事業名	暴走族総合対策の推進	
担当課・室・班名	警察本部 交通捜査課	問合せ先(電話番号)201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	暴走族等の取締り強化により、構成員の検挙、グループの解体により、少年を暴走族等への加入防止の措置を図る。 また、既存の暴走族等に加入している少年への離脱支援活動を推進する。					
当初予算額(千円)	25年度	50	26年度	50	27年度	59
決算額(千円)	25年度	39	26年度	49	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

① 暴走族による集団暴走の取締り

毎週末、県内全域において、集団暴走事案に対する警戒取締りを実施し、道路交通法(共同危険行為等の禁止等)違反を適用した捜査を推進した結果、暴走族グループによる大規模集団暴走事件を解決した。
(H25年1事件、検挙25人:H26年4事件、検挙51人:H27年3事件、検挙49人)

② 広報啓発活動の推進

暴走族取締り強化期間における指導取締りを強化するとともに、暴走族防止排除ポスターを作成して、広報啓発活動を実施した。

③ 暴走族相談員による離脱及び加入防止相談の実施

暴走族に加入している少年及び保護者から、離脱及び加入に関する相談の他、道路交通法(共同危険行為等の禁止等)違反で検挙した少年の保護者に対し、青少年の健全育成を目的とした再発防止・離脱相談に対応した。

(2) 事業の成果

① 君津市、千葉市及び茂原市内の暴走族グループによる集団暴走に対し、道路交通法(共同危険行為等の禁止等)違反を適用し、同グループを検挙解体した。

② 暴走族グループ及び構成員は減少傾向にあるものの、県民に多大な危険と迷惑を及ぼす集団暴走に対する警戒、取締り強化により、県民の安全で安心できる交通環境づくりに成果があった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

① 不良少年による小規模な爆音暴走が多くなっている。

② 暴走族に対する指導取締りを強化して、検挙解体し、少年を暴走族グループから離脱させることにより、青少年の健全育成を図るとともに、再発防止・加入阻止を推進していく。

4 委員意見